

コロナと業界

渡辺、酒井、新美



コロナ禍を経て



コロナウイルスが国内で流行して約3年
→日本経済はどう変化したのか？

日本経済への影響

- 観光業の減少
- 製造業への打撃
- 雇用への悪影響
- 小売・サービス業の低迷
- 政府の経済政策

目的

- コロナウイルスが与えた影響
- ピーク時を経ての変化
- 今後の課題

以上の内容を知るため

今回紹介する業界

- サブスク
業界

- 航空業界

- テレワー
ク(IT業界)

概要

コロナによるサブスク業界への影響



コロナ禍の航空業界と現状



コロナ禍のテレワーク



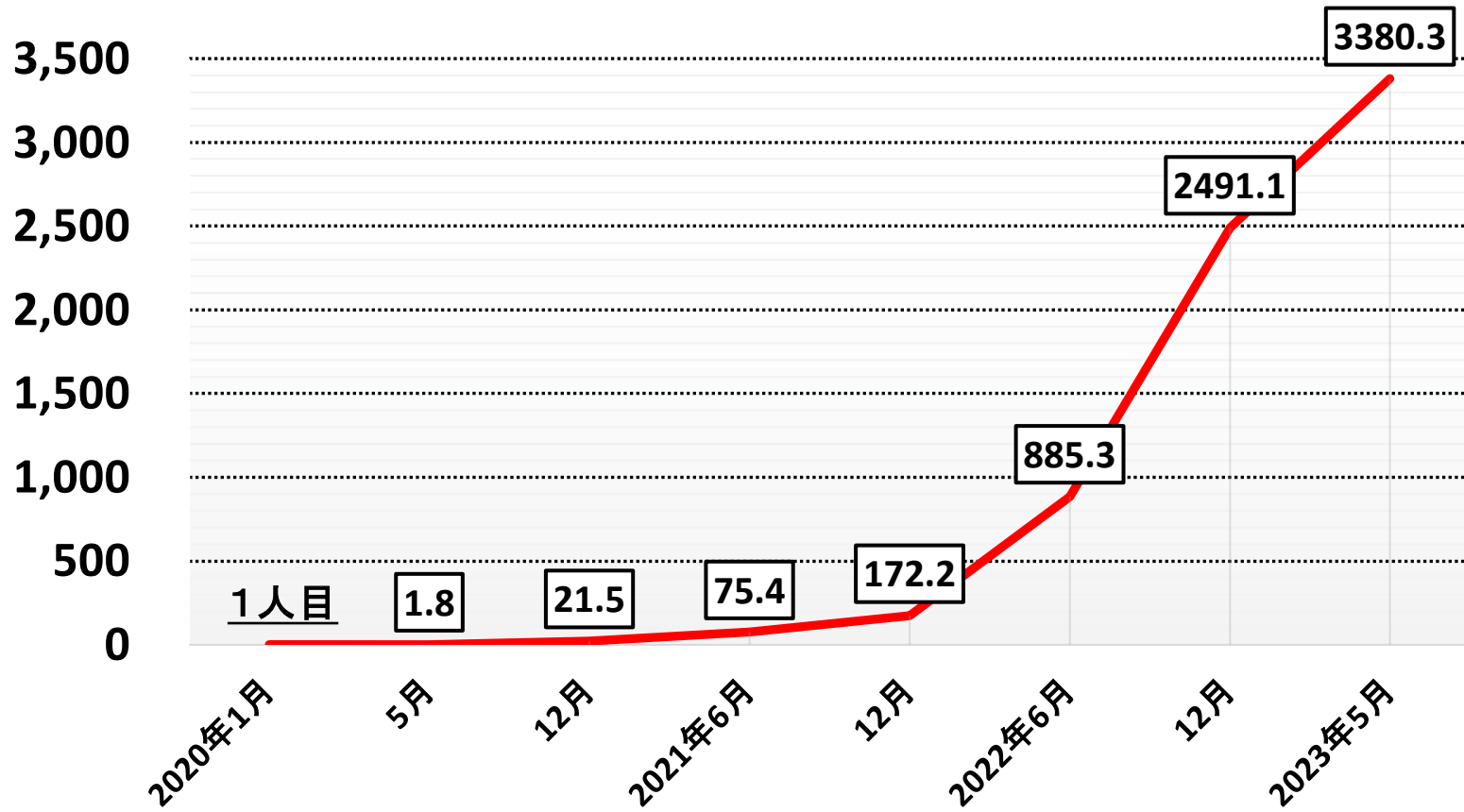
全体のまとめ



コロナによる サブスク業界への 影響

(万)

コロナ感染者数の推移



出典: [NHK「新型コロナと感染症、医療情報」より](#)

音楽・動画配信サービスの利用者数

(万)

400

350

300

250

200

150

100

50

0

2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

2021年

2022年

2023年

—音楽 —動画

142

116

216

215

259

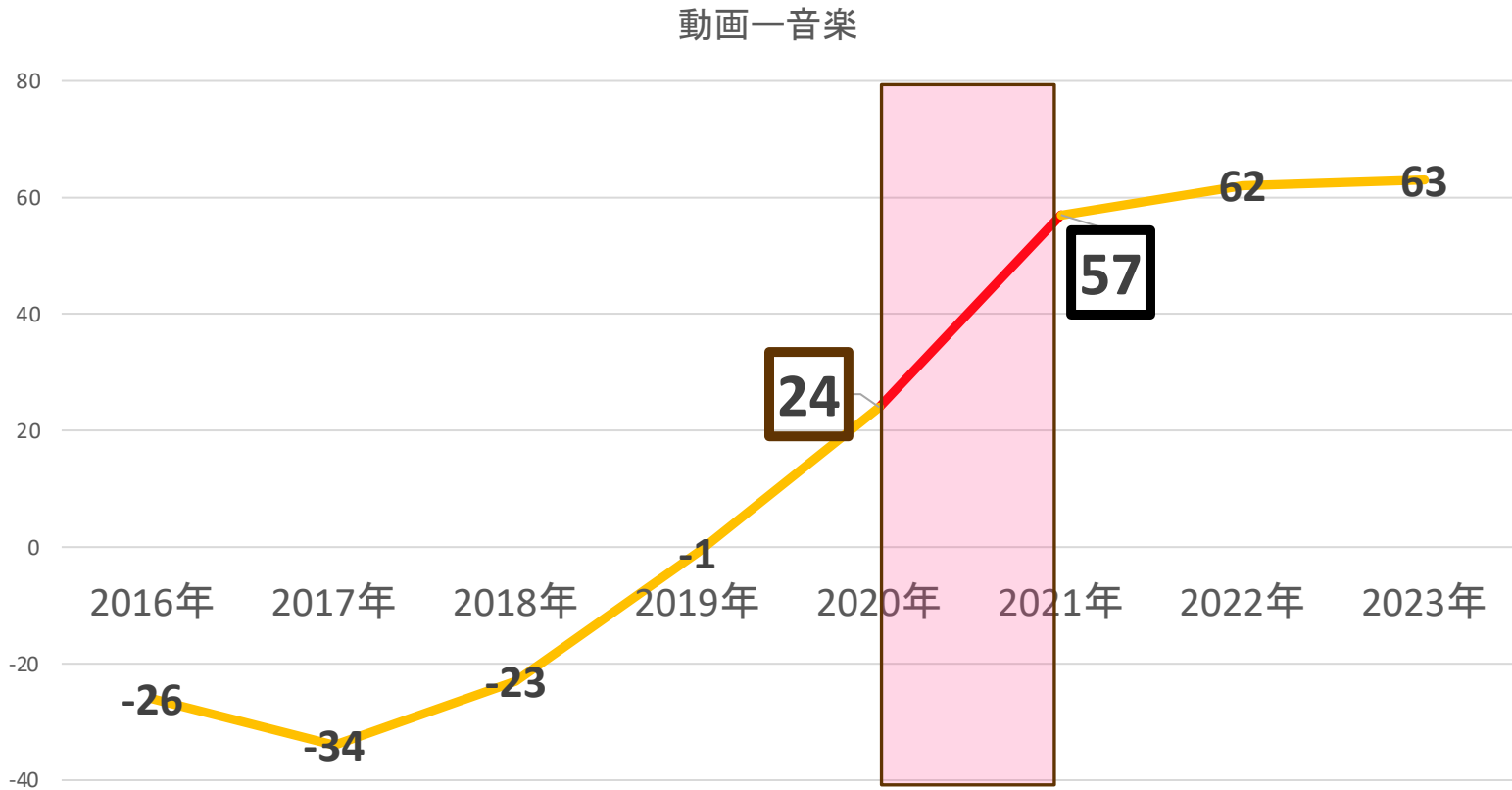
316

356

293

出典：[ICT総研「定額制音楽・動画配信サービス利用動向に関する調査」](#)より

動画と音楽の利用者数の差



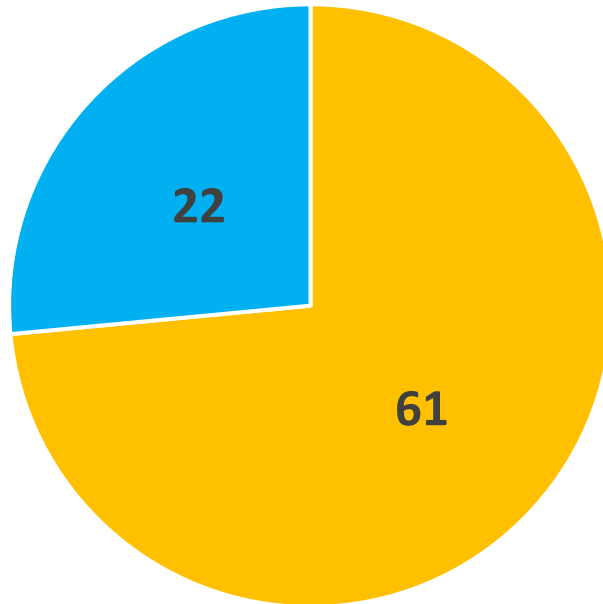
サブスク利用についてのアンケート

- 実施日：2023年10月25日～28日
- 方法：口答、LINE、インスタ等
- 調査対象：18～22歳（大学生が多い）
- 回答期間：3日
- 回答数83人
- 質問数：2つ

- ⇒1, 2023年10月時点で、サブスクを利用しているか
2, コロナ禍（2020年）に入ってから利用し始めたか

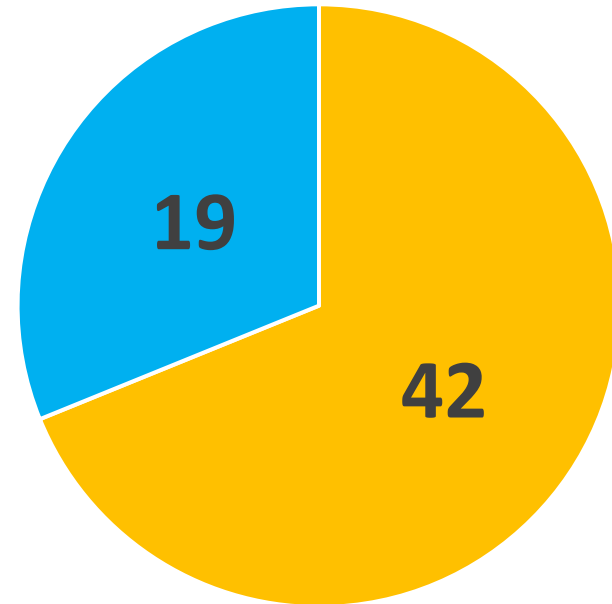
独自アンケートによる考察(対象者:83人)

1. 利用者数



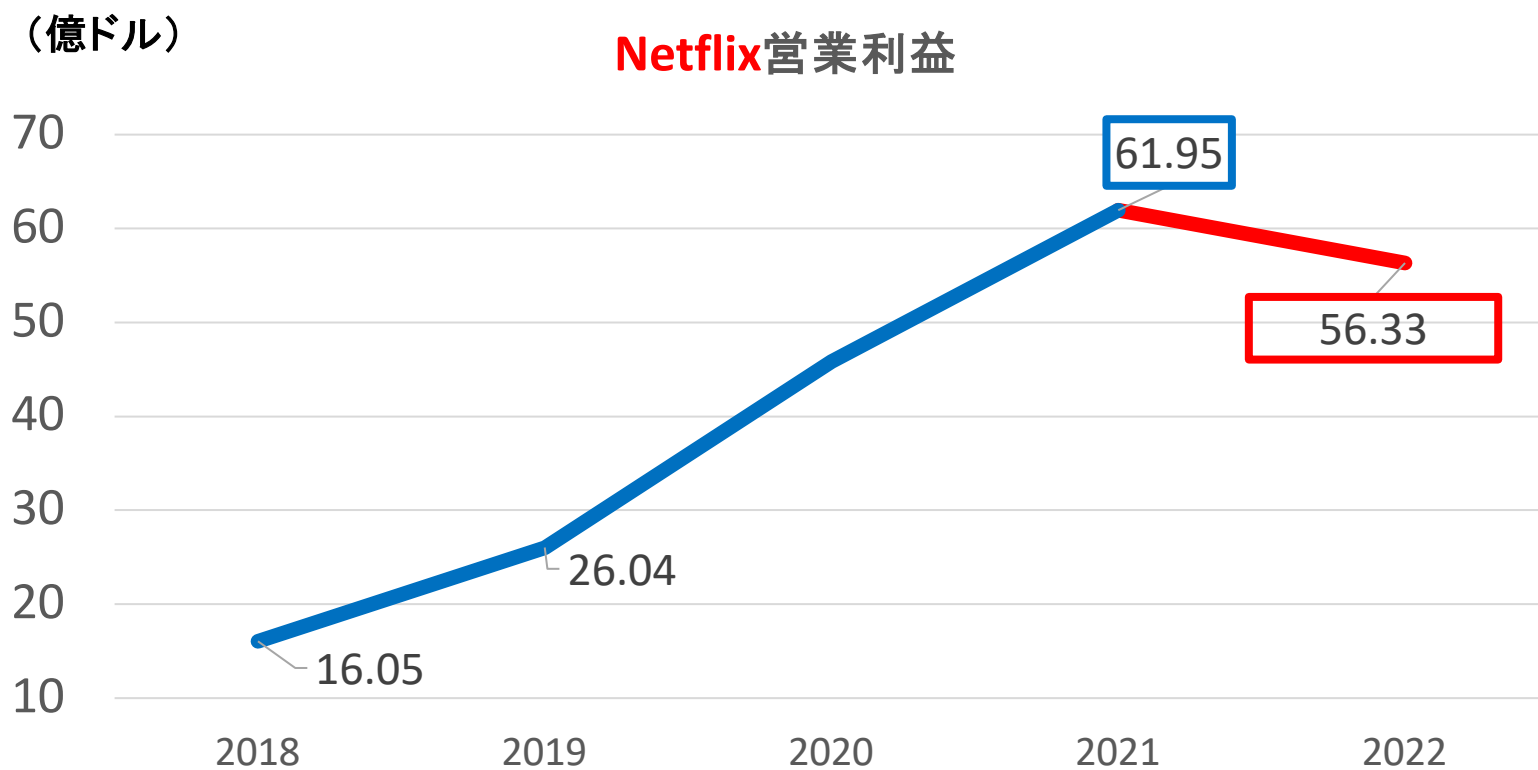
■ 利用している ■ 利用していない

2. コロナ以降登録したか



■ はい ■ いいえ

競争激化



出典: [Netflix](#)より

これからのサブスク業界

●**コロナで得た顧客の維持**: コロナ期にサブスクを始めた人もいるため、コロナ収束後も顧客を維持する必要がある

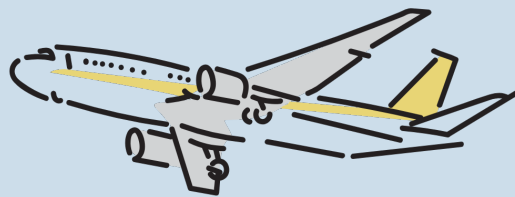
●**競争激化**: サブスク業界の需要が増え、業界内での競争が増えた

→他のサブスク提供者に対して**戦略**を練らなければならない

まとめ

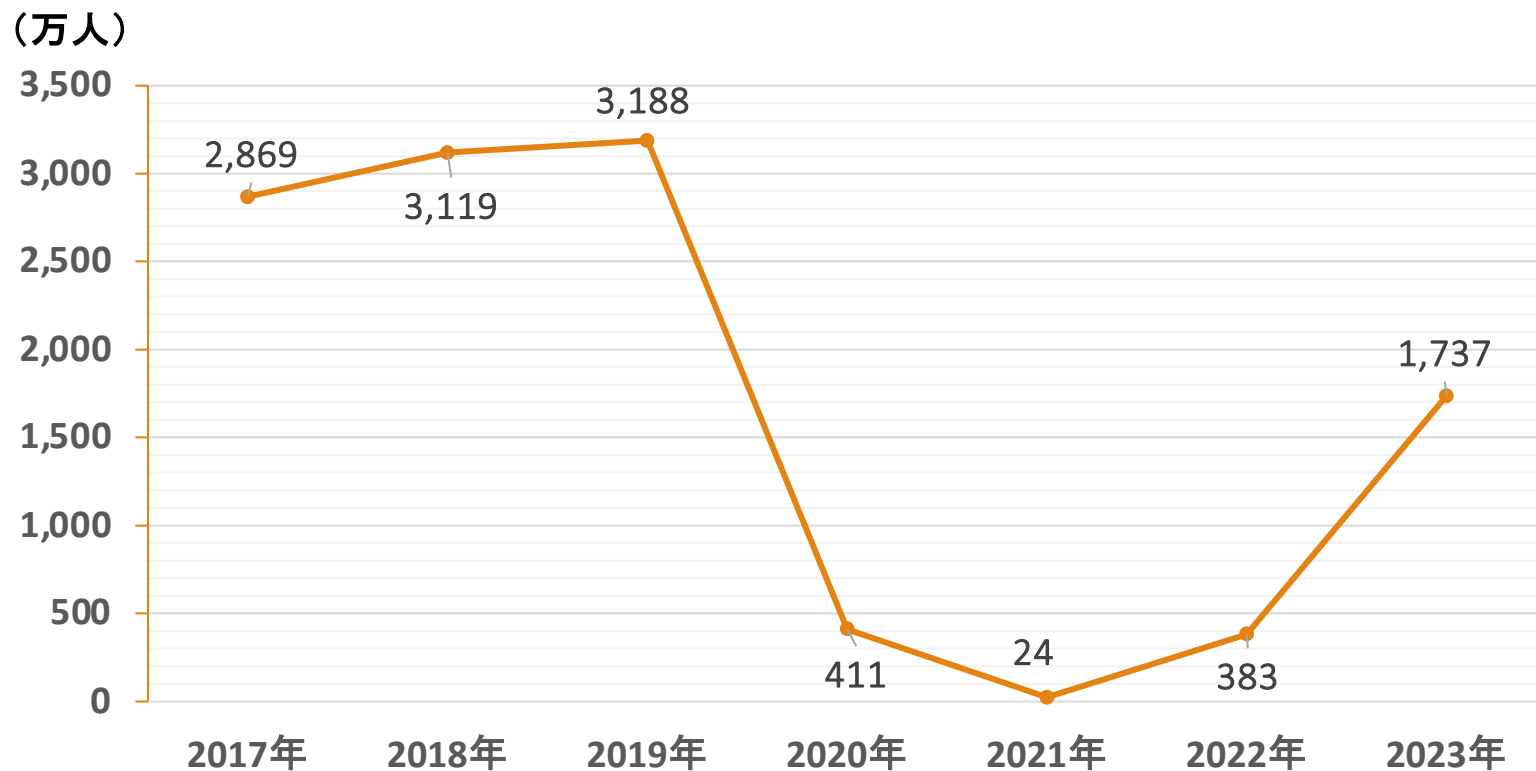


- コロナウイルスによってサブスク利用者は急激に伸びたと推測できる
- サブスク業界は人々にとって大きな需要を得たが、コロナ収束後もその需要を維持し続ける必要がある
- サブスク業界内での競争が激化したので、敵会社に対する戦略を練る必要がある



コロナ禍の 航空業界と現状

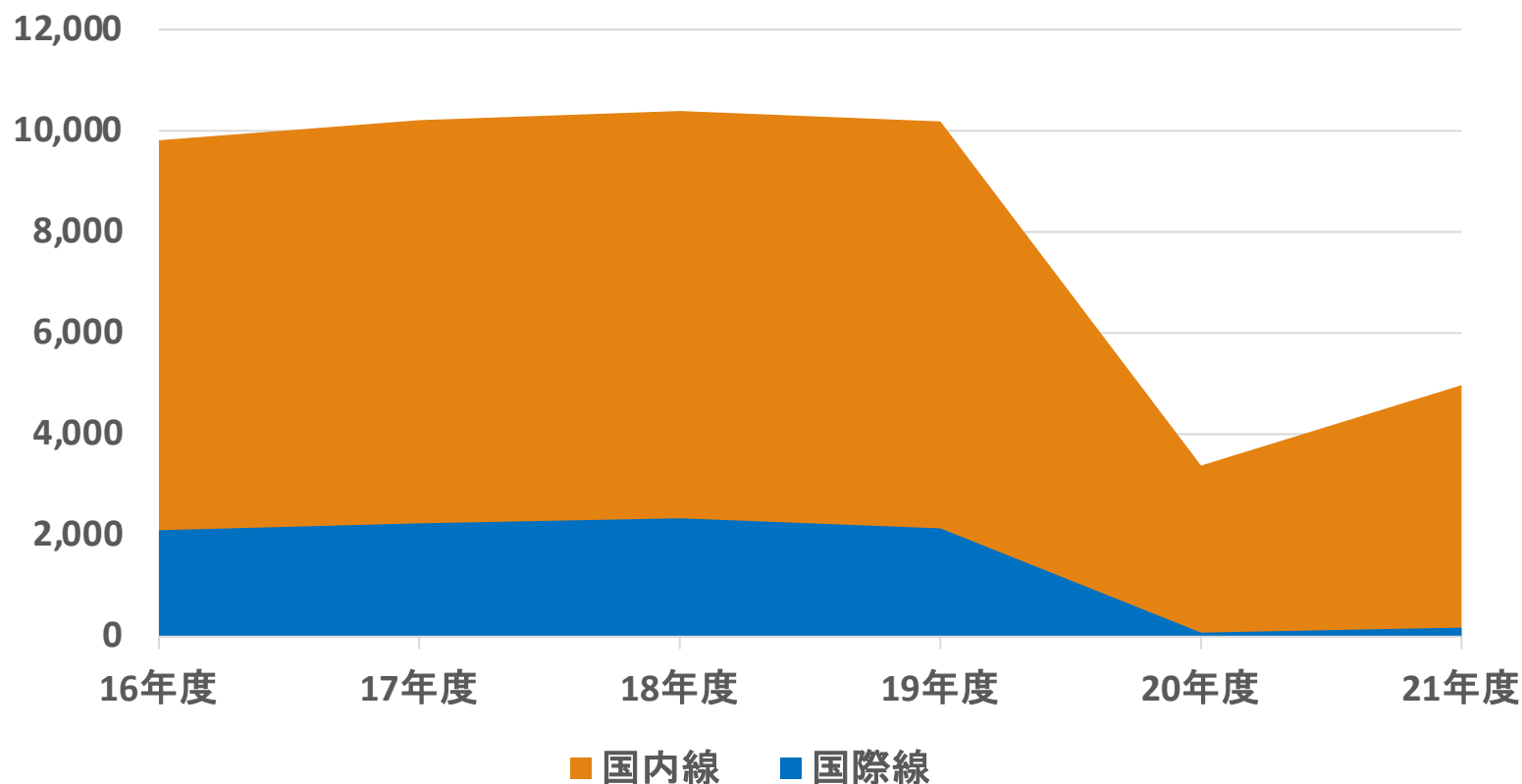
年別訪日外国人の総人数



出典：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客統計」

国内・国際線旅客者数推移

(万人)

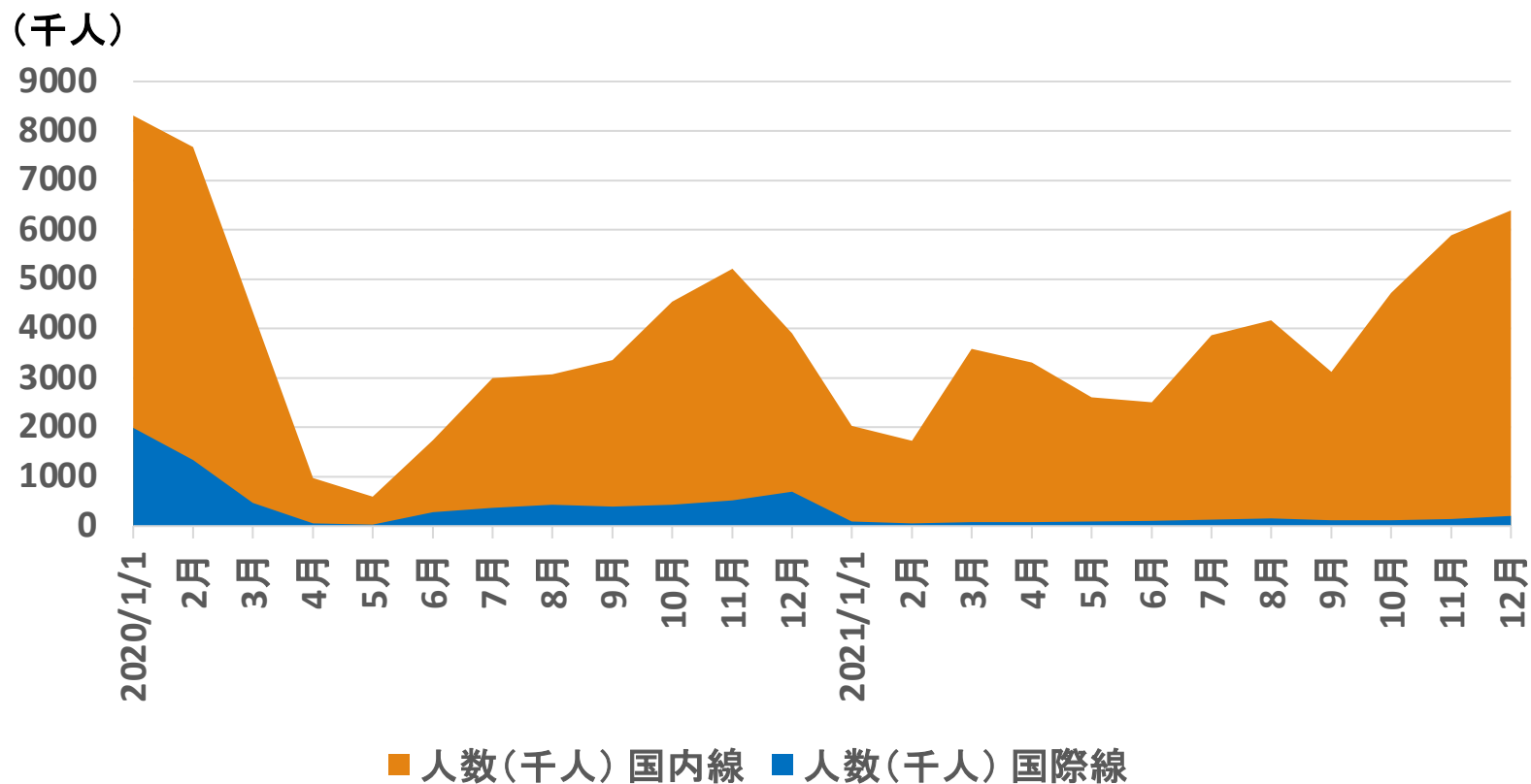


出典：国土交通省「参考資料」

なぜコロナウイルス蔓延が 航空業界に影響を与えたか？

- ・パンデミックによる国民の旅行への意識
- ・海外渡航のためのワクチン接種と、PCR検査
- ・緊急事態宣言の発令(日本)
 - 1回: 20年 4/7 - 5/25
 - 2回: 21年 1/8 - 3/21
 - 3回: 21年 4/25 - 6/20
 - 4回: 21年 7/12 - 9/30

国内線・国際線旅客者数推移



出典：国土交通省「参考資料」

なぜコロナウイルスの蔓延が航空業界に影響を与えたのか

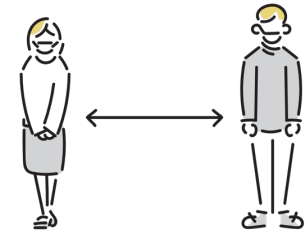
- パンデミックによる国民の旅行への意識
- 緊急事態宣言の発令(日本)
- ロックダウン(海外)
- 日本の水際対策による入出国制限



ロックダウン(中国の場合)

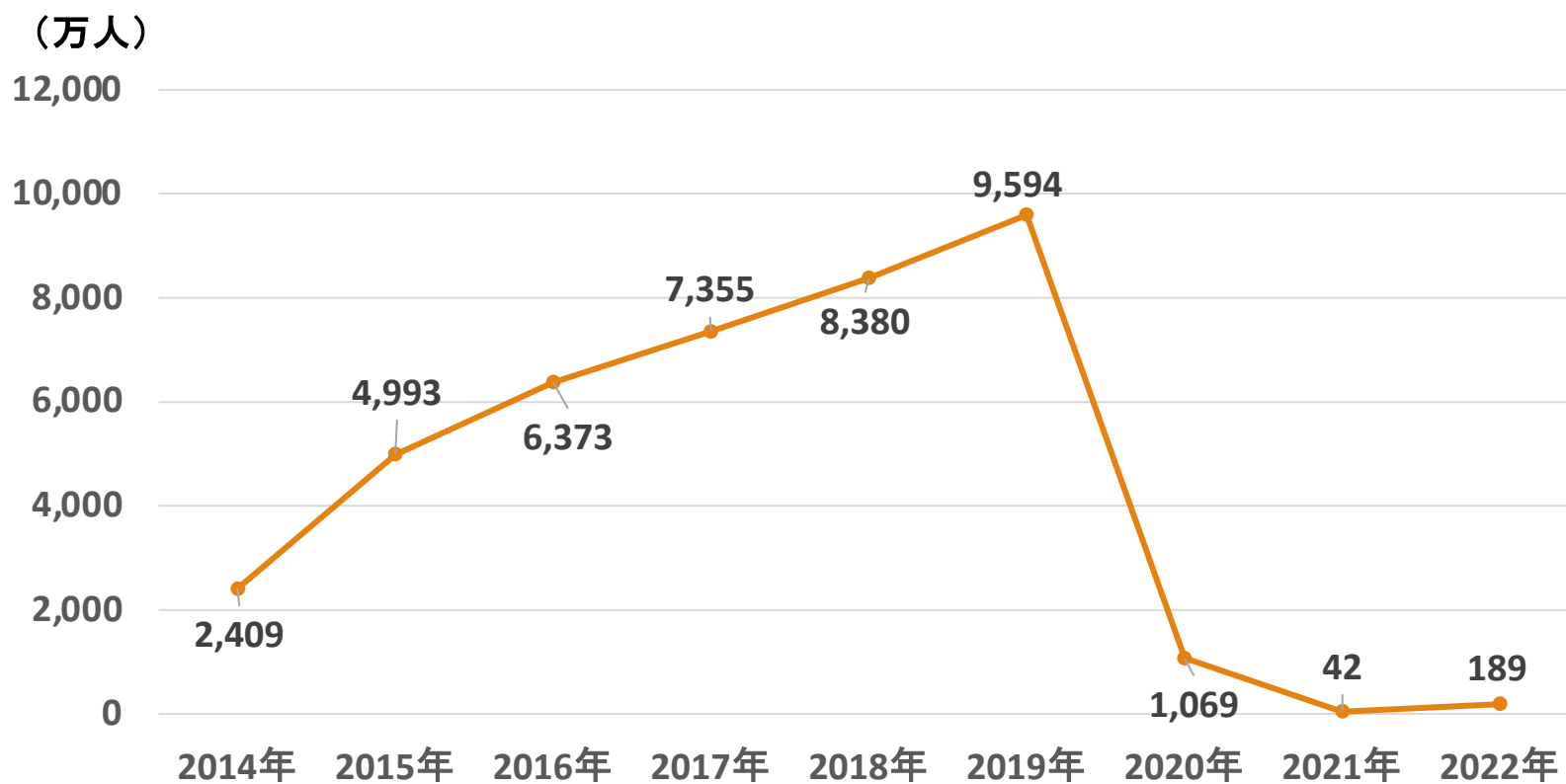
- すべての交通機関の停止
- 住民の外出制限
- マスク必須
- 体温検査の義務化・街の消毒(1日2回)
- 感染者への措置(患者指定の隔離施設で治療)

日本での水際対策



- 入国者数上限1日あたり5万人
- 68の国や地域から観光訪問など、短期滞在者のビザ
- 個人旅行者の受け入れ禁止
- 入国時のPCR検査入国後の待機期間
- 3回のワクチン接種を済ませたことの証明書

年別訪日者数推移（中国）



出典：日本政府観光局（JNTO）「国別/月別訪日外国人(2003～2023)」

ロックダウンと水際対策による影響

- 2020年国内・国際線の旅客者

国内線 前年の約33%

国際線 前年の5%未満

- 2020年の訪日外国人総数

前年の15%未満

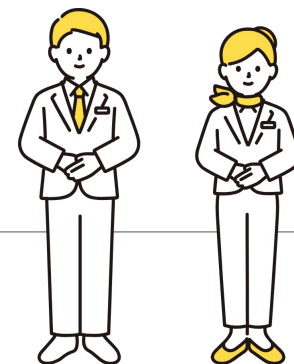


現状と今後の考察



- 22年10月に水際対策の緩和
(入国者数制限の撤廃、個人旅行解禁など)
- 2023年9月時点の訪日外国人の総人数は1,700万人まで増加
→新たなパンデミックが発生しない限り、
今後増加傾向になると期待できる
- 需要を取り戻し、経済回復の役割を果たすと考える
その一方で、、、

航空業界が抱える問題



- オーバーツーリズム問題

→観光地において、観光客増加によって起こる問題

(例)公共交通機関の混雑、マナー問題、
文化財・遺産の損傷など

- 空港・観光地でのバスやタクシー業界での人材不足

航空業界まとめ

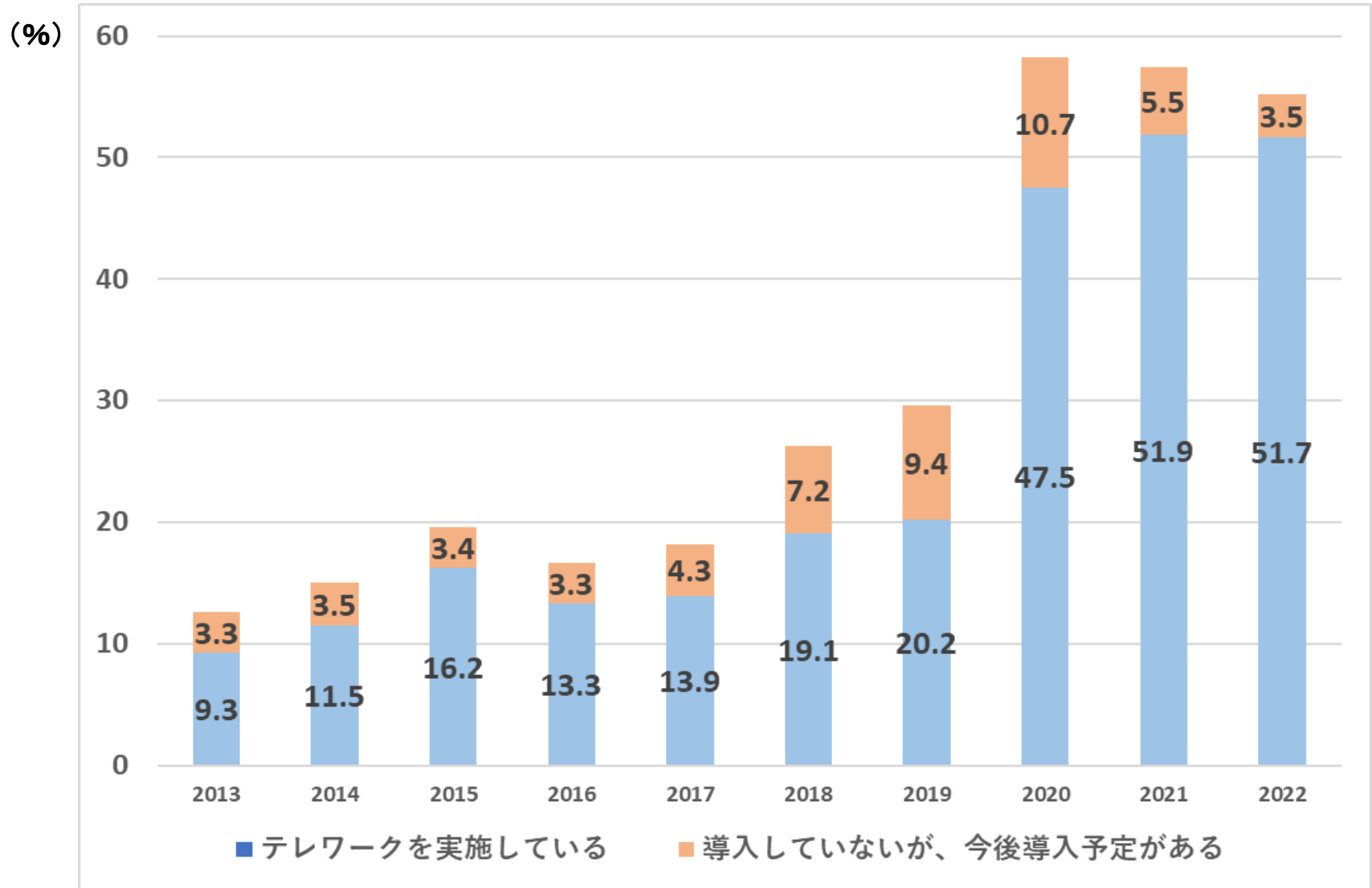


- コロナウイルスにより大きな影響を受けたものの
規制緩和に伴い需要を取り戻しつつある
- 新たなパンデミックがなければ
需要は高まり続けるだろう
- 一方でオーバーツーリズム問題・
空港、観光地での人材不足が課題点となるだろう



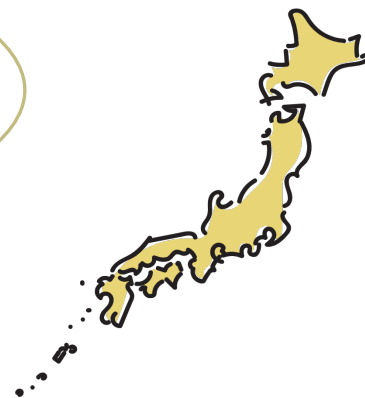
コロナ過の テレワーク

これまでのテレワーク実施率

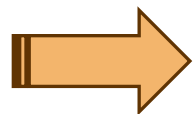


出典:「総務省 情報通信統計データベース」

テレワークは全国規模で浸透
1日の生活時間を変化させた

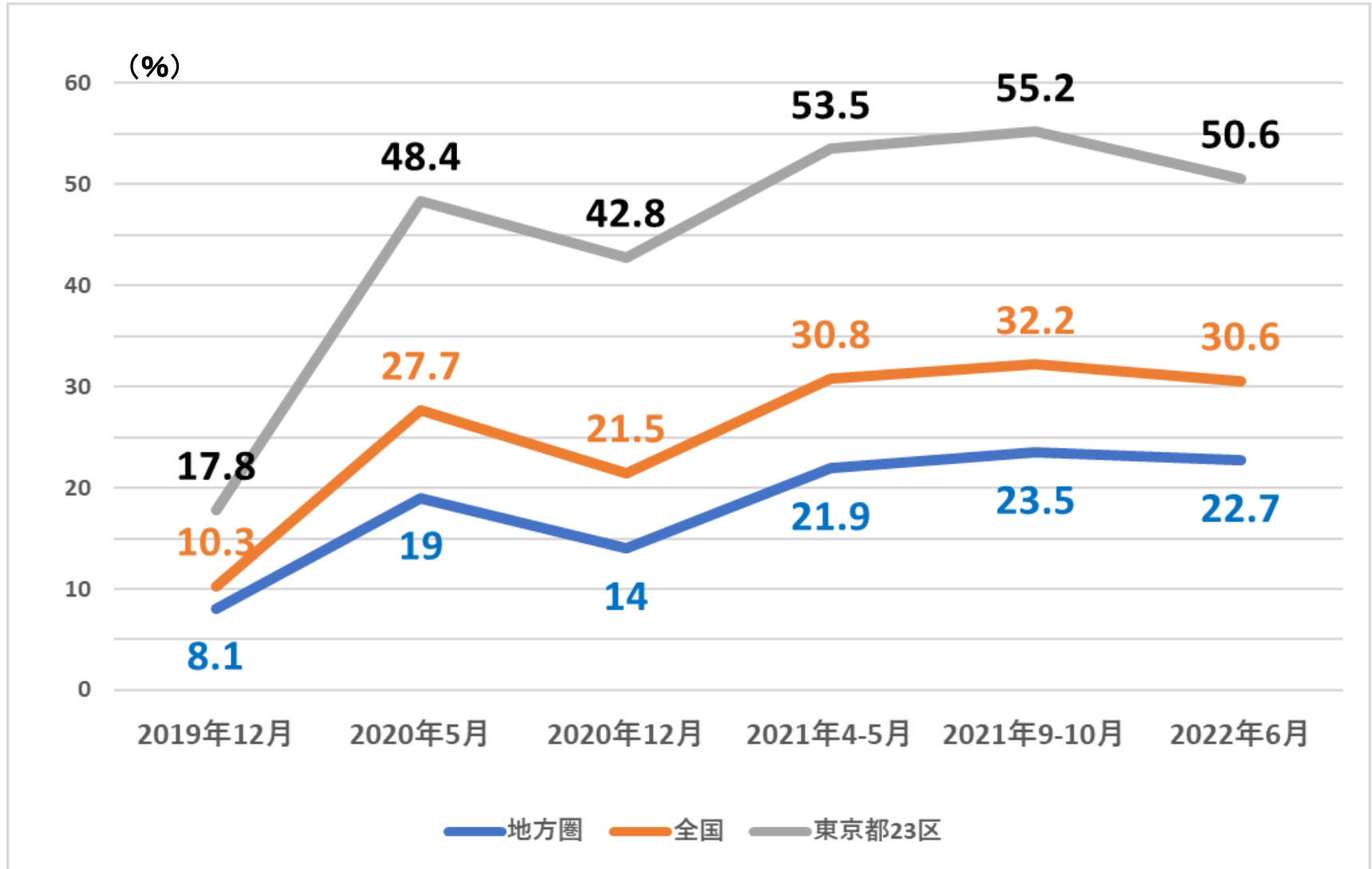


実際には
テレワークの着手障がいが起こり、
中止している業種も



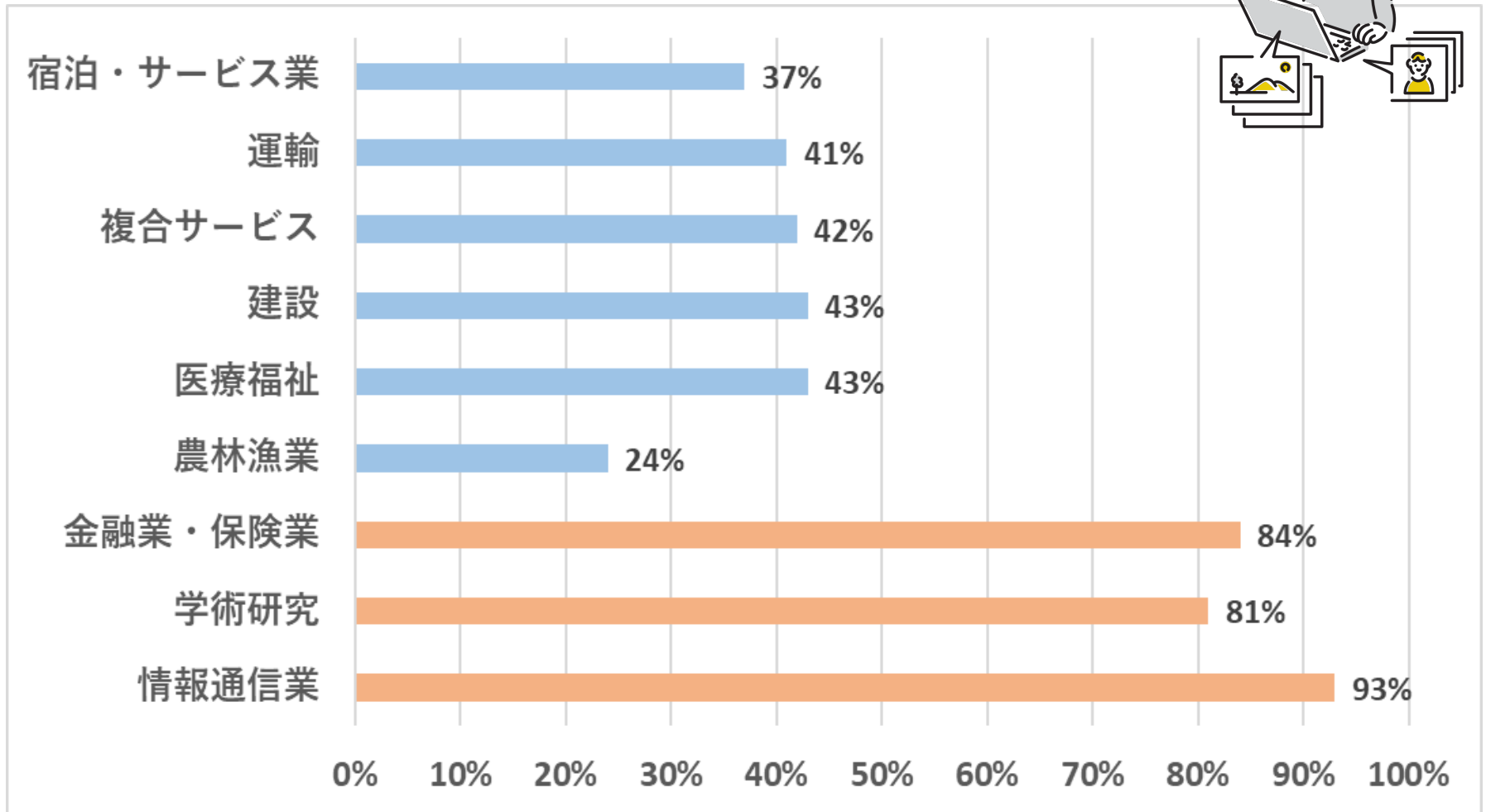
地域や職種によって
テレワークの実施率は大きく異なる

地域別テレワーク実施率



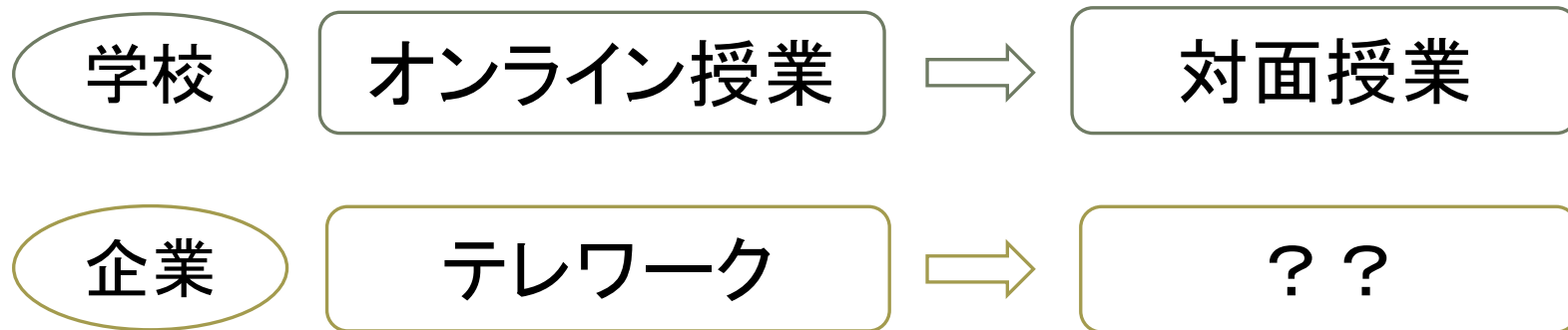
出典:「第五回新型コロナウイルス感染症における生活意識・行動の変化に関する調査」(内閣府)

職種別テレワーク実施率



出典:「コロナ過の状況を踏まえたテレワークの継続的な実施可能性の検討」

なぜテレワークは継続されている？



今でもテレワークが継続されているのには理由があり、
経済的な効果につながっているのでは...？

メリットとデメリット

メリット

- ・ 通勤時間の短縮
- ・ 交通費の削減
- ・ 生産性、効率性の向上

デメリット

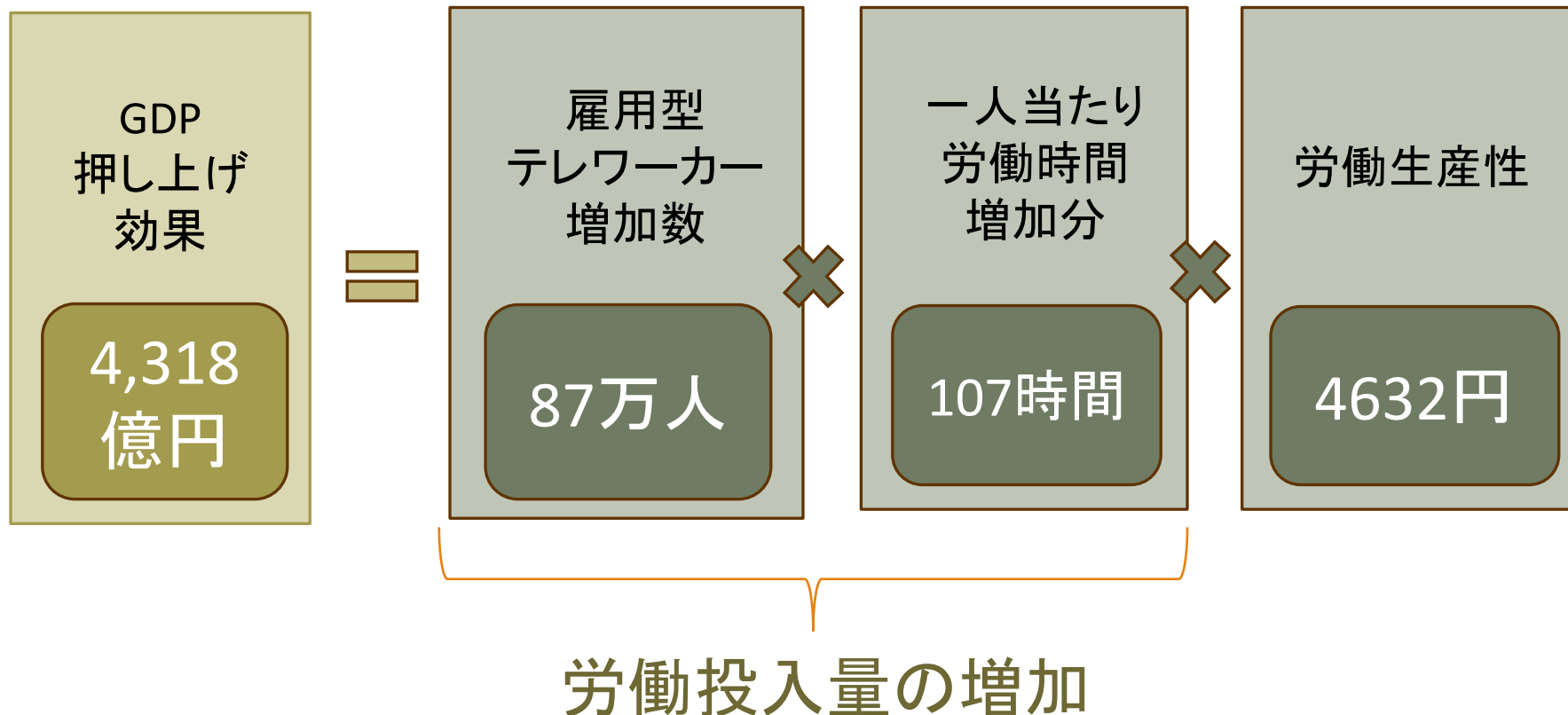
- ・ コミュニケーション
- ・ 労働・勤怠管理
- ・ 運動不足

テレワークによる
経済的な効果を得るには
生産性の向上が必要



通勤時間の短縮が
関係している

みずほ銀行による研究



これらの数字は内閣府・厚生労働省・国土交通省に基づく

テレワークが抱える課題

- 企業 ー 労働・勤怠管理、タスクの進行管理
- 従業員 ー コミュニケーションのとりづらさ、健康管理



共通して言えるのは... **コミュニケーションがしにくい**

- ◆ コミュニケーション問題は精神的な問題とも関わってくる
→ コミュニケーションツールの活用が必要

まとめ

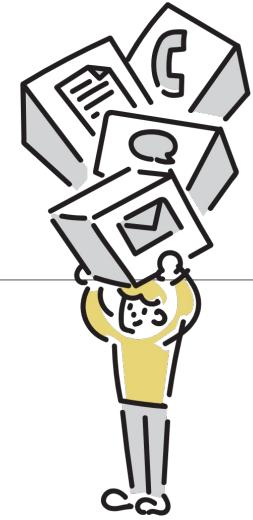


- ◆ 新型コロナウイルスによってテレワークは急激に広まった
- ◆ 経済効果は億単位で期待できるといえる



- ◆ 特にコミュニケーションの点から、課題が残る
- ◆ タスクの明確化やweb会議システムを導入する必要がある

全体のまとめ



- サブスク ……コロナで需要は高まったが、
収束後の需要の維持が課題になる
- 航空業界 ……規制緩和に伴い需要を取り戻している
一方で人材不足などが課題になる
- テレワーク ……コロナ期に急激に広まり、
莫大な経済効果が期待できる
しかし、対人コミュニケーション不足が課題になる

全体のまとめ



- ・コロナウイルスはいい面でも悪い面でも大きな影響を与えた
- ・現在どの業界も経済回復への貢献が期待できる
しかし、様々な問題点を解決することが
今後の課題になると考える

参考文献

<https://www2.j-motto.co.jp/00000000/column/2020/20200430.html>

<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001612640.pdf>

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

<https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/mhri/research/pdf/insight/jp180717.pdf>

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r05/html/datashu.html#f00322>

<https://corporate.resocia.jp/ja/info/investigation/telework22>

https://www.jstage.jst.go.jp/article/reeps/14/1/14_36/pdf/-char/ja

https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi02_hh_000056.html

https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kakuhou/files/h28/h28_kaku_top.html

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/new.html>

<https://ir.netflix.net/financials/annual-reports-and-proxies/default.aspx>

<https://ictr.co.jp/>

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>

ご清聴ありがとうございました

